

会報

みどりのひろば

発行

第42号

平成30年3月

平成30年3月現在

346団体

公園緑地愛護会報 / 前橋市公園緑地愛護会連合会

前橋市公園管理事務所

前橋市六供町1420

TEL 225-2116

FAX 225-2117



ワンダフルな公園に

会長 井上 廣志

会員の皆様には健やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。市から預かっている公園を清掃や花植え樹木の手入れなど管理

していただき多大な協力を賜り地域のふれ合いの場、憩いの場として守っていただき心より感謝致します。

昨年は九州地方で、大雨により多くの犠牲者が出る大惨事になったというニュースが有りましたが、関東地方では秋には雨が降らず公園の花に何度も水くれをししました。野菜なども育たず農家の方

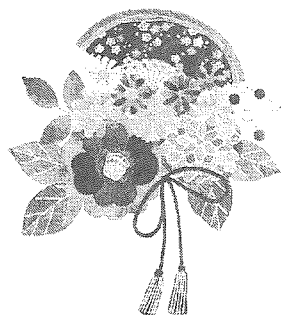
も大変な思いをした様です。連合会事業として視察研修を実施し今回は十月二十三日(月)と

二十四日(火)の二日間千葉県習志野市谷津バラ園と館山市のアロハガーデンたてやまを視察しました。会員三十八名に参加をしてい

ただき一日目の谷津バラ園は台風一過で風が強く吹いていましたがベテランの渡辺さんの案内でバラの手入れや育て方を丁寧に教えていただきました。二日目のアロハガーデンたてやまでは六棟の温室が有り、棟ごとに南国のフルーツや熱帯の樹木、サボテンなどがあり色々の体験が出来て二日間有意義な視察研修でした。いつも視察研修は色々参考に成る事が多く皆様の参加をお待ちしております。

結びに連合会へのご協力を感じ

すると共に引き続き公園管理にご尽力下さいます様お願い致します。皆様今年一年も健康で幸多い年で有ります様ご祈念申し上げます。

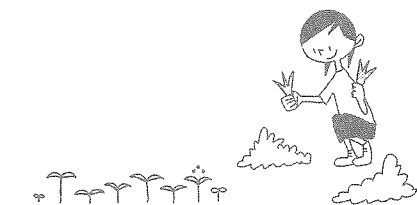




荒牧中央公園愛護会

会長 小泉 勲

平成二十九年度の荒牧中央公園除草作業を終えて。
〔期間〕平成二十九年五月七日より、十一月五日。
五月より始まり真夏の暑さの中や、十一月の初秋まで沢山の住人の皆さまの御協力のもと、草刈り作業を終了できました。
本年度より初めて公園西南側に、雑草を減らす為に、そばの種まき（五月初項）を実施し十一月の除草時にそばの収穫をし、雑草を減らす事が出来ました。



足軽茂木公園の活動について

茂木地区

足軽茂木公園愛護会

湯澤 文次

当愛護会は、環境美化、利用しやすい公園をモットーに、愛護会員、自治会役員、老人会員、ゲートボール会員、グラウンドゴルフ会で構成し年間を通して草刈、清掃行事などを行っております。
二十九年度は、四月十六日、六月四日、七月十五日、十月八日にそれぞれ草刈清掃等を実施しました。
公園内外等の草木は、来春の開花を目指して育っています。

江田町緑地公園の恵み

江田町緑地公園愛護会

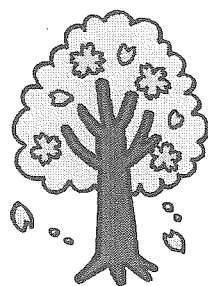
会長 富澤 好

緑地公園には人を惹きつける魅力があります。春は桜、夏は大樹の木陰を求め、町民が集まり、雑談などを楽しみながら和やかなひと時を過ごします。また、ゲートボールやグラウンドゴルフ・ラジオ体操の愛好家の活動場所としていつも賑やかです。子供たちにとっては、仲間と鬼ごっこをしたり、夏休みにラジオ体操をしたりする場所でもあります。染谷川沿いのウォーキングや散歩をしている人の休憩場所にもなっています。よく晴れた日には、縄跳びの練習をする孫を日当たりのよい公園内のベンチに座って祖父母が見守っていたり、父子でキャッチボールをしたりする姿を見ることがあります。このように町民の憩いの場であり交流の場である緑地公園には、いつも江田町の人々の笑顔と楽しい会話が見られます。

一方、緑地公園は災害時の緊急避難所でもあります。普段はあまり意識していませんが、町民の命を守るという大切な役割も担っているのです。日頃から使ったり自然と人が集まったりしている緑地公園は、いざというときに大きな力となってくれることでしょう。
ところが、昨年七月、市の公園緑地課より半年後には、現在の緑地公園を地権者に返還することになっているというのを伺い、大変驚きました。三十数年間にわたって活用されてきた我が町の緑地公園は、地権者の多年にわたるご協力があったからこそと分かりました。世代を超えてたくさんの恵みを与えてくれた今までの緑地公園に、町民全員で「ありがとう」と言いたいと思います。

幸い、代替地として新たな地権者のご理解をいただき好条件地が決まりました。平成三十年度内には新しい緑地公園ができる見通しです。

私たち江田町緑地公園愛護会は、これからもたくさんの方の恵みをもたらそう、町民と一緒に木や花を植え、施設を整え、草むしりをして、町民から愛される緑地公園づくりに努めていきたいと思えます。



小さな公園の清掃作業から

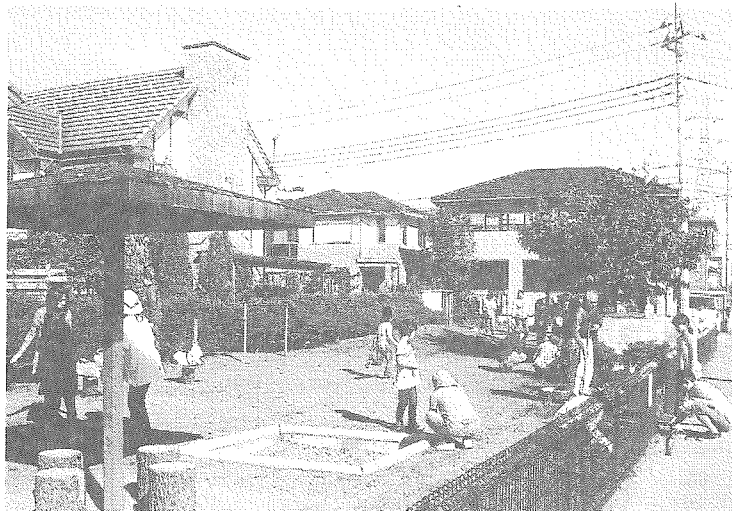
中内公園愛護会

会長 清水 和夫

中内町は、前橋市の南端部に位置する二三〇戸ほどの町で、古くからの集落と新しく造成された住宅団地で構成されています。

この団地の中央部に十五m×三十mほどの小さな中内町公園があります。公園には、幼児や児童のために滑り台や鉄棒などが設置されています。また、大きく伸びたハナミズキやドウダンツツジは、季節ごとに散歩をする人たちの目を楽しませたり、木陰を提供したりしています。中内町では、こうした公園の管理や町内の環境整備のために年間を通して毎月第二日曜日の朝、清掃活動を実施しています。特に、野草が生い茂る季節には、住民全員で手分けして草むしりなどの作業を行っています。

写真は、平成二十九年の十月八日(日)の中内公園の清掃作業の様子です。子どもたちも参加し、家族揃っての作業となりました。町の環境整備の役員さんは、安全を考慮し、作業開始前に草刈り機であらかじめ下草の整理をしてく



なっています。

公園は、幼児や地域住民にとつて遊びや憩いの場として親しまれています。一方で小学生からは「思い切つて走り回ったり、ボールを蹴ったり出来るような広い公園があつたらいいな」との声も聴かれます。今後も、こうした願いが実現するように働きかけることも努めたいと思います。

今年は、前橋市公園管理事務所を通していただいたチューリップの球根を清掃作業の時に植えこみました。春になったらきつと色とりどり花を咲かせてくれると思います。小さな公園ですが、町民にとつての心のよりどころとして大切にしていきたいと思っています。



魅力ある

町づくり

駅南公園愛護会

会長 藤井 勤

私たちの公園は、前橋駅南口から人々が集まりやすいショッピンモール「けやきウォーク前橋」に通じる位置にあります。日常では高齢者のグラウンドゴルフや親子でのキャッチボール、サッカーなど子供達の遊び場所として利用されています。

また、桜の花が咲く頃は、学生、子供連れの家族や若者達の憩いの広場となっています。私たちの住んでいる町が花や緑に包まれて美しく豊かな、住んでいて気持ちの良い住環境を如何にして作り出していくか、それには、まずゴミ出しのルール違反を無くすことで道行く人々が住んでみたいと思うような個性的で明るく魅力ある街並みを皆で作りたいものです。

公園や街路樹、窓辺に花を飾る等、「ここを、〇〇したら素敵だね」などと、日頃から少しずつ意識を持ち、自分で楽しむだけの花ではなく、他人に観せる花も必要かと思っています。「水と緑と詩のまち」に相応しい明るく魅力ある町づくりを実現したいものです。

◆上増田公園年間を通して愛される場所

上増田愛護会

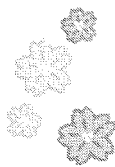
会長 宮下 昭雄

当公園は上増田町工業団地に災害に備えた「調整池」の一部として、上増田町自治会が、管理を委嘱されており、この調整池の、一部を地元少年野球チームが、主に、土、日に利用して和気藹々と試合をする様は、私ども、うれしく思います。

上増田町公園は、上増田町自治会役員が中心となつて、年間を通じて管理させていただいております。

近年、桜の木も、大木となり春はピンクの、桜が咲くと、とてもきれいになり、人々の憩いの場所として、大いに、楽しいひとときを演じております。

年間を通じて、各種団体の方々と共に散歩、ウォーキング等の休憩所として利用する人々の為に、今後とも私ども、自治会が代表となつて管理を継続して、頑張つていきたいと思ひます。



◆赤石公園愛護会活動概要報告

川原町赤石公園愛護会

会長 三木 努

私共の愛護会は川原町内の四つの組で構成されております。基本的には、五月から十月迄が清掃期間で、各組が一ヶ月間担当し、順次交替します。清掃は、日曜日の朝七時から約一時間を目安として

います。また、各組の皆さんが、協力的に清掃に参加して下さいますの

で、当日の出席状況は大変良好です。当日は老若男女和気藹々と励んで下さっており、そうした中で、相互のコミュニケーションも図られていて、お陰様で円滑な状況となっております。

一方、一昨年から試験的に、一部に芝を植えて育成しており、徐々にその面積が拡がりつつありますので、その成長も今後共見守つて行きたいと思つております。

◆私たちの緑地公園

池端緑地公園愛護会

会長 高瀬 昭雄

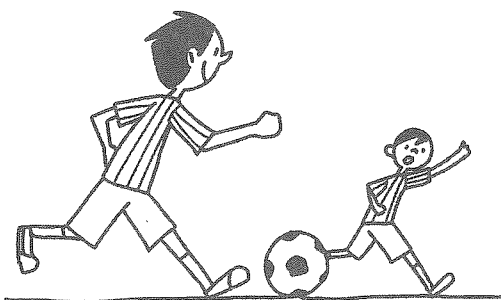
清里地区池端町は前橋市の西端に位置し、旧群馬郡の所属でしたが、昭和三十年に前橋市に編入いたしました。この地域には農村地帯で昔は養蚕が盛んでしたが、今は十名程度の皆さんがホウレンソウ、枝豆、玉ねぎ、ブロッコリーなどの野菜を中心に頑張つて出荷しております。

昔は、近くの神社境内の空き地で、ブランコ・滑り台などで遊んでいましたが、狭いため、野球などのスポーツが出来ない状況でした。このような中で、何とか広い場所に遊び場が出来たらとの声もあり、当時、米の減反政策で不在地主の田んぼが減反面積として組み込まれていたもので、地主さんの了解を得て広い田んぼを市が借用する形で整備し開園いたしました。立地場所は町の中央に位置し、遊具がブランコ、滑り台、動物の乗り物の3種類だけで、子どもが遊ぶには少し足りないと感じております。

しかし、広さがあるので、子ども達は、学校から帰つてサッカーやボール投げ等に興じています。

よく利用されるのが、六十歳以上の方が所属する清寿会がグラウンドゴルフの練習に使っております。また、近くに病院、老人施設等があるため、そこに入っている方々が、訓練と散歩を兼ねてグラウンドで体操やソフトボールなどで楽しんでおります。

課題としては、広さがあるため、夏場の草が一週間すると、ものすごい速さで成長し、この草刈り作業が一番大変です。このため、五月から十月まで間、自治会の組単位(月一回二十名程度)で一時間程度かけて草刈りを行つていきます。遊ぶ場所が確保できるのはうれしい事です、これを維持管理するのが大変です。



公園愛護と 調整池の 草刈り

東ロースタウン

公園愛護会

会員 黒岩 清源

東ロースタウン地区内に一周三百m程の調整池があります。その緑地内を子供達が遊び場として楽しく利用しています。しかしその緑地が六月から十月にかけて草がとて伸びます。その草は時には一mを越える時もあり、子供達は緑地内に入って遊ぶ事が出来ません。また、草の高さが子供の背丈を越えるため防犯面からも大変危険な事もあります。

そこで、その時期はできるだけ草を刈るよう努力しています。が、一人での作業のため、限界が有り、緑地内の広さと草の伸びる速さに追いつきません。

子供達の遊び場所を維持するために、自分達の地域を自分達の力で綺麗にする事を願っています。そのためにも、これからは一人でも多くの協力者、ボランティア者が増え、より安全で使いやすい場所になる事を願っています。

はちまん広場の 現状報告

清野町はちまん広場愛護会

会長 下境 義光

はちまん広場は、前橋市の北西端部に位置し清里地区の一部を担う一九八世帯、四九十八人が生活を営む町内に有る、西側を榛東村に、北側を吉岡町に接し県道高崎渋川線に沿った集落です。南東端部に前橋西高校を配し北東端部八幡川沿いに八幡神社と広場が併設されており、今年度に鉄棒とリスの遊具を増して頂き楽しく利用しています。



この広場の利用に当り町内十三組有る班が四月から順番に除草と清掃を行っています。近年では、農業振興地域といえど営農家屋は数軒であり残り全てが勤め人で構成された町内状況です。西高周辺には新興住宅が点々と増設され、児童数も徐々に増えるのに伴い公園使用者も増加していきますので、二連ブランコなどの更なる遊具の増設をお願い致します。

ふるさと公園 花壇の手入れ

原中ふるさと公園愛護会

会長 高山 澄

昨年小林会長のもと、市から頂いたチューリップの球根を植えるため、副会長の綿貫さん、育成会長の越後谷さんと相談して、廃品回収の後に育成会役員と参加する子供たちの有志で花壇の手入れをしました。

作業は昨年の球根の掘り出し、整地、新たな球根の植え付け等大変でしたが、参加してくれた子供たち、役員の方々の協力を戴く事ができ、元気よく、みんなで楽しく行うことができました。今年も綺麗な色とりどりのチューリップ

が咲くようにと願い、作業を終えました。
また、冬の間は寂しいので育成会で葉牡丹の苗を二十本追加して、綺麗にしています。



城川公園愛護会の活動

城川公園愛護会

会員 吉沢 信明

本会は城川地区にある南公園・北公園の二つの公園を管理しています。南公園は総社町遠見山古墳の裾野にあり、祭りを始め自治会行事の会場として利用しています。北公園は城川地区の中心に位置しており桜の木、常葉樹木が繁っています。

そこに愛護会が花壇を造成して会員を七班に分け、一週間単位の担当カレンダーを作成しました。これにより普段からきめ細かく手入れを行っています。花壇管理計画は、会員の話し合いで年間計画を作り、全員で花の種蒔き、花苗の植え付け、肥料の施しを行います。

季節の変わり目には花壇の土地の耕しを行い、秋には桜の落葉を集めて腐葉土を作り、出来上がった腐葉土を花壇に鋤き込んで土を肥沃にしています。

この取り組みにより春は水仙、チューリップや芝桜の花、夏は百日草をはじめ約十五種類の花、秋は菊を中心に十種類の花、冬はパンジー、葉ボタンや寒さに強い花を咲かせ、憩いの公園となりました。



会の行事、諸活動報告

淡島緑地愛護会

会長 清水 忠

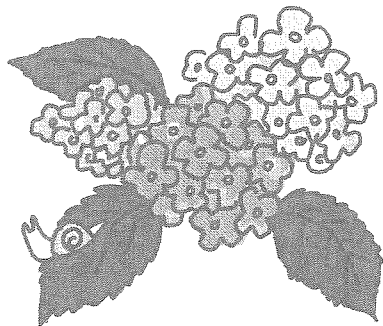
私達の地区は、上組、中組、下組と三つの組に分かれており、三つの組が一つになって諸行事が行われます。淡島緑地には桜の大木が六本ほど植えられていて、桜の咲く頃には近くの人の子供を連れ



桜の花見に来られます。秋になると落ち葉が落ちて年間に二、三回の掃除を行いその量も一回に家庭用のゴミ袋に約五十袋にもなり大変な仕事です。

一年交替で地域の方も実施していただく作業をみなさん協力的で愚痴一つ言わずにやってくれます。ゴミの処理は自治会長を通して市清掃施設課の職員に協力して頂いています。

淡島緑地の役員は神社行事を中心として行うものも年に数回あり、年末のお正月様のお札の販売、三日には「だるま」様の初売り、今回は自治会長の好意により清里地区全体に呼びかけていただき「だるま」販売も好評でした。



広瀬川緑道にて

千代田町一丁目

広瀬川緑道愛護会

会員 佐藤康・智子

○短歌

緑道の

さくら、あじさい

なかと そうじ

みどりの いろは

こころの いろは

○俳句

緑道で

ふしぎな かぎと

いろいけり

○俳句

広瀬川

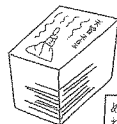
ゆれる柳や

散歩道

モンスター

ともに 緑と

たわむれる



わがまち
ではつづ
めつづ



八幡山公園の愛護活動

八幡山南橘林の

広場愛護会

会長 向井 詔士

「八幡山南橘林の広場」が正しいようだが、地域では八幡山公園と言っている。

上細井町は、赤城県道が町の真ん中を通り、東端に由緒ある鎌倉坂、西端に根を張っているのがこの八幡山公園である。中央は南橘の忠霊塔で、前が広場になっている。春には、広場の桜を個人的に楽しんでいたが、夏の手入れでは、きまつて蜂騒ぎになった。

平成二十年三月、松枯れ対策で二十数本の河津桜を植え、町の子孫に向けてタイムカプセルを埋めた。こうして、自治会・賛同者を挙げて愛護会が組織された。愛護会は、その力を發揮して公園整備を行い、相次いで花木を植え、駐車場もできた。

河津桜が春の到来を告げ、紫陽花が梅雨を彩る。ツツジが燃える。彼岸花が



10周年記念 会員集合
平成29年11月12日（広場にて）

樹下を紅く染めると、もう秋。ナカマドの落葉が朽ちると秋も終わり。八幡山公園は、今や季節感豊かな花の公園である。

地域の人の絆は大切だ。時季を得ての手入れには、三十人前後の会員が参加してくれる。大勢の人が集まる春の花見を楽しみに。

芽生え

前箱田公園愛護会

会長 只木 満延

前箱田公園では、みちくさ会（会長、新井和三）子供育成会（会長、恩田美保）前箱田女性クラブ（MMC、代表萩原扶美子）の三団体が年間を通して四季の草花を公園の周囲に植えたり、花壇を作って、育成した草花を移植したりと、公園の美化活動に取り組んでいます。

除草、消毒、水やりや追肥など、交代で管理し美しい花を咲かせ、町内の方々から「四季の花が鑑賞できて、楽しい」と喜ばれております。

これからも連携して継続出来れば良いと思います。

川曲町緑地

公園のあゆみ

川曲町公園愛護会

会長 唐沢 泰夫

川曲町緑地公園は、昭和六十二年に設置され、今年で三十一年

になります。愛護会員も当初は、四十数名おりましたが、高齢化が進み現在の会員は、二十一名と少数で清掃、維持管理を行っております。これから先も高齢化が進み、公園の維持管理の人材確保が心配です。



地域・愛護会活動

鶴が谷愛護会

会長 真下 功

＊会員に感謝

公園、「ふれあい花壇」「宮川花壇ロード」の管理は、会員十五名で構成されています。バックに自治会が五月～十一月まで、月一回第一日曜日朝七時から一時間ほど自治会員全世帯で公園除草を、八月は業者に除草依頼サポートしてくれます。

＊地域活動

・町内東側通学路ガードレール際の高雑草除去(草刈り)
・駐在所の花壇・プランターに春秋の花植え
＊愛護活動

＊四月～十月の、「ふれあい花壇」

「宮川花壇ロード」の除草、五月と十月花植え

・六月と九月に大小公園、公民館の低木剪定、芝刈り、小石拾い、砂場の砂の掘返し、十二月落ち葉拾い

＊「花のライン」花壇づくり

・五月連休明けに、「宮川花壇ロード」花壇、(四百二十m)に、四ヶ所の「花のライン」花壇を、造りました。

・市の公園緑地課担当者の方には、大変にお世話になり愛護会一同感謝しています。

・愛護会みんなで緑化と公園愛護のため頑張つてまいります。

＊公園管理事務所「緑の技士」に感謝

・大小公園(九千m)が出来て三十数年公園内の樹木が大きくなり、昨年、自治会の計らいにより公園管理事務所に、樹木の剪定伐採依頼を、十二月十二日より五日間高樹木の強剪定伐採していただきました。

・公園「緑の技士」八人(延べ四十人)に、お疲れ様、ありがとうございます。

・公園利用の子供連れのお母さんより

見通しもよく公園が明るくなり、子供たちの遊びに目が届くと、また、移動販売車(フレッシュ便)利用者からもスッキリ気持ちがいいとありがたいお言葉をいただきました。

♪ 活動スナップ ♪



◆「子供達の声が聞こえる」

岩神さくら公園愛護会

会長 上野 厲治

少子高齢化が進み、子供達の遊び戯れる声を久しく聞かず、受験戦争による塾や室内でのゲームが青空の下で遊ぶ時間を奪ったのかと想像していました。

勿論我が町には公園が無く子供達の好奇心や欲求を満たす受皿も無かった事も一因でしょうが。発明家やノーベル賞受賞者の話に少年時代の遊びで芽生えた好奇心が原点であると聞き、遊びの声が聞こえないのが大変残念でした。

こんな時、旧前工跡地再開発の市の説明会があり、地元要望での

公園計画が取り入れられ、回を重ねる毎に理想の公園像と成り命名の元となる前年植樹の桜の若木も、今年春には健気にも花を咲かせ、広い芝地や最新の遊具、利根川や神社の森と調和し美観となった。

オープンと同時に大勢の子供が群がり遊び、土日祭日の他、平日も保育園児や母子の微笑ましい姿が毎日見られ夢に見た子供達の歓声が聞こえる幸せを味わっています。

私達「岩神さくら公園愛護会」は大切に次世代へ繋ぐ決意です。

◆公園で学んでいます

天川原中央公園愛護会

ふれあい花壇

会員 市川 雅子

日除け帽子・手袋・首にタオル、見よう見真似で花壇に立ちます。「これは雑草なのかな？」のレベルです。花木の名前、判りません。シャベルの腰の入れ方判りません。教えて下さる先輩方のお名前がすぐには出て来ません。相向

いの自治会館で、新聞回収されている老若男女に小学生、一体何の集いなのか見当が付きません。判らないながらも、毎月、皆さんと花壇・公園の手入れに勤しんで来ました。子供さんの喜ぶ遊具・憩いのベンチと東屋。立ち寄るのを楽しみにしているファンもいる花壇。四月は各種の桜・五月は藤と「いつ来ても綺麗にされている公園ですね」と褒めて頂ける天川原

中央公園。季節の行事に人が集う処、公園はそういうものと思っていました。

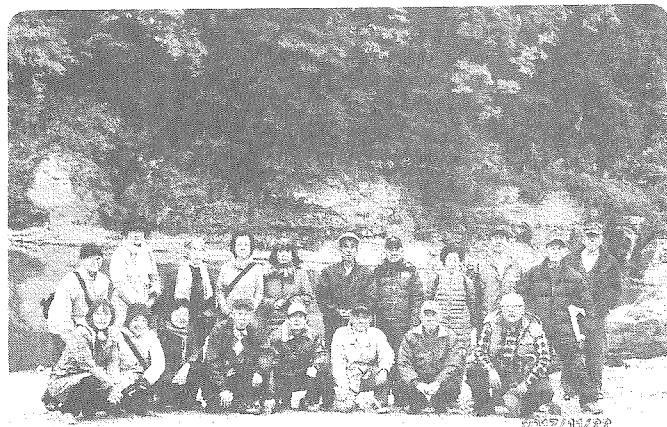
公園の見方が変わったのは、夏の祭りの会場作り、準備に大勢の方々が関わり、手際良く行動されているのを目の当たりにしてからです。粗大ゴミの日も防災訓練の日も、この公園で展開される皆さんの無駄のない動きは実に見事で、私には、新鮮な光景でした。手入れをしている馴染みの公園で皆さんと一緒に行事の準備をする。参加する。一緒に後片付けをする。同じ時間を過ごす体験が出来る。そんなことを繰り返すうちに、「公園の持つ持っている機能・役割りは深いものだなあ」と思うようになりました。この年齢になり初めて気が付いたことです。

その視点で『会報みどりのひろば』を改めて拝読すると、公園に寄せる先達の熱い思いが毎号満載されており、一言一句が心に響きます。公園を通じて様々な体験や想い・感想を共有・共感できるということは大変貴重で素晴らしいと思つているところです。

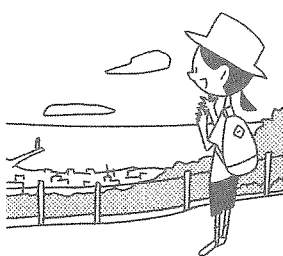
今でも雑草なのか区別がつかないし、膝が曲がらなくて満足な作業が出来ないなど笑い飛ばしていますが、それでも毎回公園清掃に参加し、花壇に立つことに自分なりの張り合いが持てるようになったことをこの機会にお話できた

と思ひ、又、この想いを広げるといふ新しい張り合いも出来たと思っています。

年一回の親睦旅行は長瀬方面へ出掛けました。埼玉県立自然の博物館で古代の様子・長瀬の成り立ちを再確認するなど充実した時間を過ごすことが出来ました。



親睦旅行 長瀬



野中町 公園の横顔

野中町公園愛護会

会長 深谷 茂

私達の公園は前橋市に農村公園が開設される制度が発足した第一号としてお認め頂きました。十分な公園面積が確保できないため苦心し、知恵を絞って開設した経緯があります。開設されるや、遊具（鉄棒、滑り台、砂場、ブランコ、犬の遊具）等を設置して頂き町内の子どもたちが保護者共々ひとときを楽しんでいる様子を垣間見るにつけ町民に共通した遊びが出来て良かったと思います。

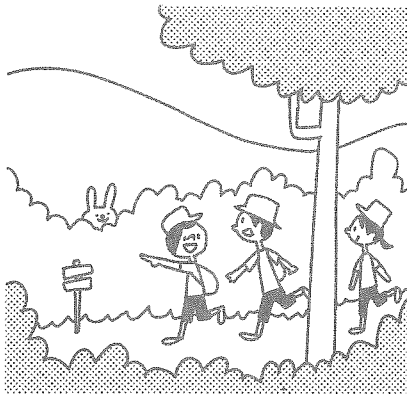
また、園内に公園灯やトイレを設置して頂き利用者の利便にご配慮して頂き感謝しています。爾来（その時以来）三十年以上にわたり管理を預かる愛護会として綺麗に維持していくにも会員皆さんの協力が欠かせません。反面、利用者の心配りにも期待したいと思います。私達も月二回の清掃作業を実施して維持管理に努めています。公園愛護会の構成員は、自治会役員、老人クラブ役員、神社氏子総代の協力を頂いています。

公園の維持管理には町内各種団地の協力が欠かせません。特に、

落葉期の落葉清掃は大変ですが、落葉樹の緑葉は、光合成で大気環境の改善には大きな貢献していることを公園管理していく上で心していききたいと思っています。

市内の緑が減少していく中で街路樹や家庭の生け垣、公園内の闊葉樹（広葉樹）の育成こそは大気汚染を浄化するうえで見えないけれど大きな社会貢献をしていることを認識していききたいものです。

こうした視点からみると公園は地域住民の憩いの場所であるが、闊葉樹（広葉樹）を植樹することの大切さを認識したいです。



安心・安全な明るい 公園になりました

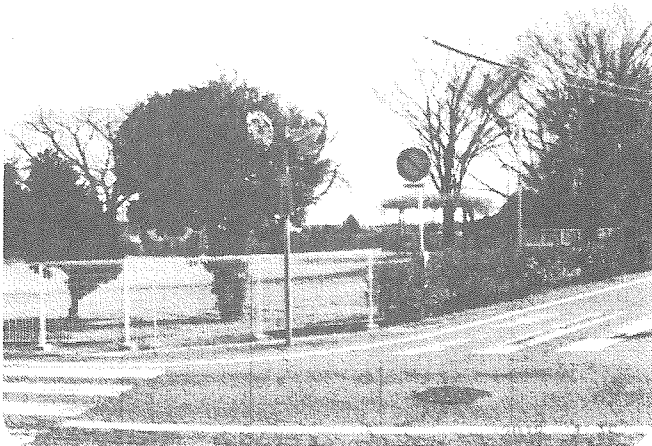
清里前原公園愛護会

会長 松島 武久

私たちの清里前原公園は、前原住宅団地の北側に位置し、東側は八幡川に隣接し高崎市です。公園の日々の管理は、青梨子町前原自治会の八つの組が順番で、毎月清掃をしております。春から夏は除草、現在は落葉収集に苦戦しながらも非常に綺麗に清掃されています。

交通量の多い公園の西側は、ベニカナメの植栽で公園内の見通しがいまいちでしたが、昨年当局のご配慮により、網フェンスを設置して頂き、大変見通しが良く、公園内も明るくなり、公園利用者はもとより近隣住民も大変喜んでおります。

また、昨年十月には報奨金を利用し、公園周辺に防犯カメラを設置し、さらに充実した『安心・安全の公園』になり、土日以外でも特に小さい子供の姿も見られる様になりました。



公園活動

米野故郷公園愛護会

会長 栗原 八十一

米野故郷公園管理は、区民を始めとして、自治会役員と長寿会、各種団地で活動をしています。米野地区は、区民が七組に分かれて作られています。区民の活動は、五月から十月まで、月に一回と、八月のみ二回の草刈りと、石垣の草取りをしています。自治会役員も出席して川底の掃除と生垣の手入れをし、その他に一回小枝切りをします。

今年は、自治会役員で、川の石垣の目地の裏込め作業をしました。水もれもなく、きれいになりました。長寿会は、グラウンドの草刈りをしていただき、雑草を退治して頂いています。各種団体役員さんは、年に一回の池の清掃をして頂いています。

米野故郷公園は、区民、皆さんの、協力で保っています。春に成ると、桜の花もきれいに咲き、区民の人々を楽しませてくれます。



公園の管理について

南堂木公園愛護会

会計 高橋 利治

私達の公園は、「南堂木公園」という名称で、六供町の南東部に位置する場所にあります。区画整理半ばに出来た公園で、まだ新しく綺麗な公園です。遊具も揃い環境面も非常に良く、子供達の遊び場としても、喜んでもらっています。

私達の公園の管理は隣接する組内で組長が代表責任者として行っています。公園がまだ新しく、雑草も余り大きくないので、今のところ年に春と秋の二回の清掃、「草取り」を行っていている程度ですが、三役の責任者と話し合いの下、道具を購入したり、検討会を聞いたり、地域の方からの要望を聞いたりして、今後の活動に活かして行っています。

今後は年二回では、草とりも少ないという意見もあり、町内の一斉清掃に合わせ、春秋と年四回にして、雑草が余り生い茂ることのない様、いつまでも、きれいな公園にして守って行き、美化運動に努めて行きたいと思っています。

廣瀬川河畔公園

廣瀬川河畔公園

朝日町三丁目

廣瀬河畔愛護会

会員 丸山 勇

私共、朝日町三丁目朝日会は、会長始め、九人の役員で構成されています。廣瀬川河畔公園は、日赤病院の北、廣瀬川の北側は、須賀の園で藤の名所です。春には桜と藤の花が咲き、最高の散歩道で、多くの人が散歩を楽しんでいます。

河畔の清掃は、四月から十一月の八カ月間、七時から八時まで行動をし、清掃の際、散歩している人が「綺麗にしてくれて、ありがとう。ご苦労様です」と声をかけてくれ、本当に嬉しい一言です。

悩みは犬のフンです。手袋をして草取りしてはいますが、たまに犬のフンを掴んで苦笑い。各々犬の散歩している人は、袋とスコップを持って歩いてますが、人によつてはフンに砂をかけるだけで去っていきます。

秋、桜の木の落葉を袋につめて手伝ってくれる近所の方が、四く

五人おり助かっています。九人のメンバーと、近所の人の力を借りて今年も、がんばります。
朝日句会メンバー俳句をいくつか。

利根川の 中州を渡る 空っ風
寒暖差 老いの背筋 すっと伸び
公園の 花壇小さな 春を知り

佐々木洋之



わがまちにも

「公園ができたよ!」



龍蔵寺ふれあい

公園愛護会

会員 金子 本次

我が町の長年の懸案であった公園が、土地所有者のご理解と市のご支援、また、多くの関係者のご努力により昨年度新しく誕生した。

開園には約五十人の老若男女が集い、神職によるお祓いで無事故と安全を祈願、次に自治会長の挨拶があった。

移があつた後、全員にお茶やお菓子が配られ開園を祝うとともに、今後の活用に花を咲かせていた。

現状は幼児の滑り台、少年・少女と父母等のボール遊び、永遠の若人のグラウンドゴルフや休息の場等として町の内外を問わず盛んに利用されている。

開園したもの足りないものが一つあつた。それは看板である。ほかに費用をつぎ込んだので、先送りになっていた。そこで関係者

が知恵を絞り、用材は格安で提供願ひ、加工や塗装(防腐用の柿渋塗布)などは皆で対応、文字も地元の特長技能者に依頼し、九月二十一日、手作りの心のこもった看板が設置された。

なお、管理については、愛護会員はもとより、付近住民などのご協力で対応しているが、大きな課題は外部(フェンスと水路の間)の除草と風除けのない休憩所の対応である。

原町自治会が受け持つ 公園愛護会について

天川大島町原町自治会

会長 前田 秀信

天川大島原町には、六つの公園愛護会があり、この内の四ヶ所の公園(新東橋・たこ・白樺・原町)を原町自治会が受け持つております。

市民の共有財産である公園を、安心・安全な場所として確保していく為に、

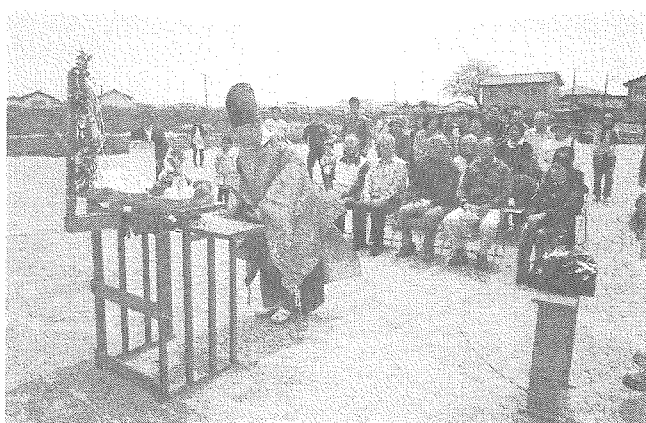
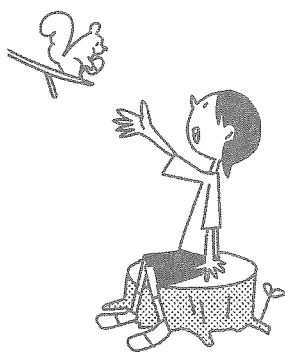
○公園やその周辺のゴミ拾い
○草刈り作業

○特に秋冬に増える落葉清掃
○低木植栽や高木の簡単な剪定と支障のある枝の除去

等々を町民の協力の下、定期的に行つております。しかし、高木の高所剪定は難しく、市の協力なくしては実行できないのが現状であります。

中には、有事の際の一次避難場所になつていたり、春のスポーツ祭や夏の納涼祭等のイベントを実施し、地域のふれあいを深める場になつてゐる公園もあります。地

域住民の身近なコミュニティの場として、いつもキレイで、気持ち良く利用できるよう、現在の状態をどのように維持していくかが今後の課題と考えております。



公園を見つめて

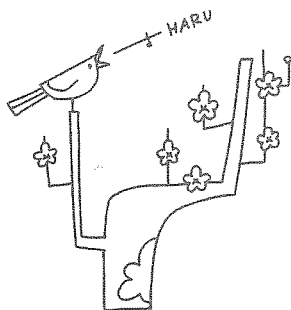
天大ふれあい公園愛護会

会員 三輪 幸子

私は、引越してきて一年になります。目の前が、きれいな公園であった事と、静かで長閑な場所であったことが決めてでした。引越して来たのは一月で、少し寂しい季節でしたが、季節が流れると共に花が入れ替わり、十二月より三月はパンジー、四月は桜、チューリップなど、四季折々の花達が公園を彩ります。このような花達を眺めていると、心豊かになります。

また、昼間は子供達が遊具で遊び元気な笑い声と、お年寄りが集まり談笑しお茶を飲む姿は、なんとも微笑ましい光景です。この町に来て本当に良かったなあと思う毎日です。

そして私は今、ふれあい公園愛護会の一員として、少しでもお手伝いができるように協力していけたらと思っています。



多くの人が

大活躍の公園

大屋敷公園愛護会

会長 大山 敬司

公園で遊ぶ幼児と親の声、小学生の弾ける笑い声、自治会活動で集まった人々の歓談する声。公園からは年間を通して楽しそうな声が聞こえてきます。この賑やかさは公園が活用されている証です。

大屋敷公園は前橋市の西部、総社町四丁目の宅地造成に伴い平成十三年に街区公園として誕生しました。面積は約二千㎡、東西五十八、南北三十五mです。周囲は道路に囲まれていて、白い色の低いメッシュフェンスが設置されています。ブランコ、滑り台、スプリング遊具二基、砂場、トイレが設置されています。フェンス内側には植込み、花壇を設け、中央はグラウンドとなっています。周囲には桜をはじめ十種類余りの花木が植えられていて、四季折々の花を楽しむことが出来ます。更に、花壇には季節を彩る草花を毎年植えています。

大屋敷公園愛護会は平成十四年に発足し、自治会と一体となって活動しています。四月から九月までは月一回、全住民を対象とした



輪番制で清掃・除草を行っています。更に、愛護会員にて、必要に応じて花壇や植木の手入れ、グラウンド部分の除草。清掃を行い整備に努めています。住民一体となった清掃活動により、常に綺麗に維持されていて、使い易く心とわ公園になっています。よく整備され開放的な公園は、地元の子供だけでなく近隣の子供たちも良く遊びに来ています。

公園は管理の手を抜くと取り返しのつかない荒れた場所となってしまう。これからも大勢の人が集い、地域の憩いの場として親しまれる公園で在り続ける様に維持管理活動に努めたいと思います。

新しい仲間

新設公園愛護会紹介

平成二十九年度前橋市公園緑地愛護会連合会に加入しました。よろしくお願いいたします。

(前号掲載以降)

平成二十九年度実績 七団体

岩神さくら公園愛護会

会長 上野 厲治

やすらぎ公園愛護会

会長 山田 徹

六供南大門公園愛護会

会長 下 美知也

中島なかよし公園愛護会

会長 北澤 光男

飯玉緑地愛護会

会長 阿部 栄

宮地西公園愛護会

会長 小澤 明彦

前箱田子供公園愛護会

会長 浜野 富男



年々高齢化する

公園美化活動の

草刈りボランティア

高花台一丁目

1号公園愛護会

会長 南雲 玉充

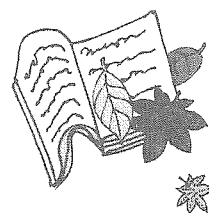
高花台一丁目自治会には四つの公園愛護会があり、四月から十一月の間、毎月一回、公園清掃を行っています。十年ほど前は毎月、全員参加で行っていましたが、今では各班年三回の当番月清掃とし、軽減して来ました。

枯れた草を袋に入れる作業を皆で行います。三十分程度の時間で和気藹々楽しく清掃活動を行っており、評判も上々です。その陰には、事前に芝刈りや低木の剪定等の事前の作業を行う草刈りボランティアの存在があります。

現在十七名のメンバーで分担し四つの公園を維持していますがメンバーの高齢化と共に体力と相談し、ボランティアを卒業される方が毎年おられます。高齢化と共に機械を進め自走式草刈り機、ハンマー式草刈り機を購入し草刈り作業の労力軽減に努力しておりますがボランティアのメンバー減少は



今後の町の美化活動の悩みの一つです。
町のシンボルである公園が藤沢川河畔の遊歩道など、いつもきれいに明るい町であるように愛護会活動をさらに定着させて行きたいものです。



編集後記

はじめに、会報「みどりのひろば」第四十二号を発行するにあたり、ご多忙の中、原稿や写真をお寄せくださいました方々に厚くお礼申し上げます。全ての原稿を掲載するに当たり原文の一部を修正、簡素化等させていただきました事、写真の一部しか掲載できなかった事をご容赦願います。

会員の皆様には、日ごろより公園の維持管理・美化活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。今後も引き続き、公園、緑地、街路樹の愛護活動にお力添えいただきますよう、よろしくお願いいたします。

